

2024. 1. 10 発行


# 北豊島工科高校 図書館だより



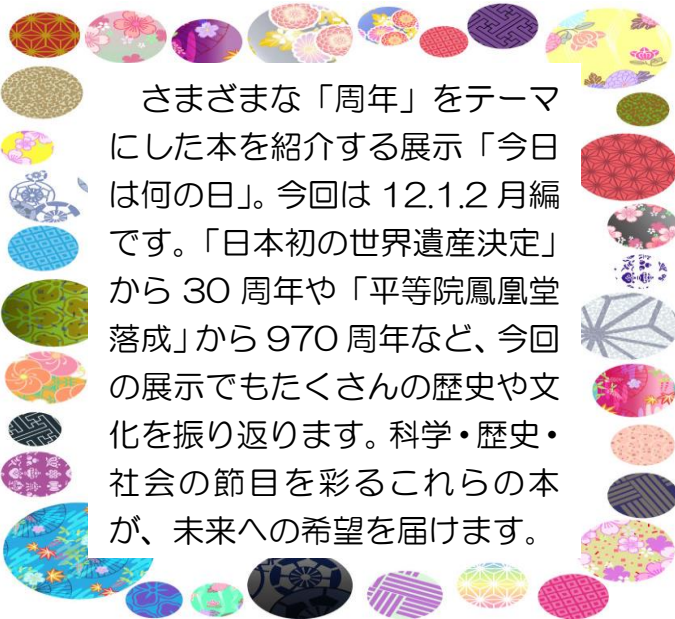
1 年間の締めくくりの 3 学期がスタートしました。新年早々地震が発生するなどしましたが、北豊島工科高校の皆さんが充実した日々を過ごせるよう、今年も図書館は皆さんを応援し続けます。いつでも気軽に図書館に足を運んでくださいね。

今冬の図書館前廊下展示ケースの特集は「今日は何の日 12・1・2月編」です。

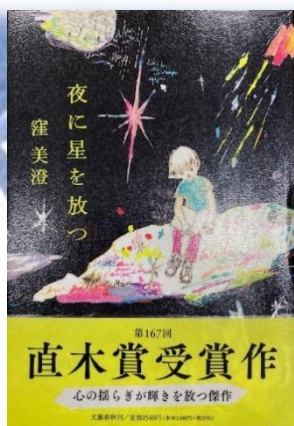
## 特集展示 「今日は何の日 12・1・2月編」



さまざまな「周年」をテーマにした本を紹介する展示「今日は何の日」。今回は 12.1.2 月編です。「日本初の世界遺産決定」から 30 周年や「平等院鳳凰堂落成」から 970 周年など、今回の展示でもたくさんの歴史や文化を振り返ります。科学・歴史・社会の節目を彩るこれらの本が、未来への希望を届けます。



### 特集展示のおすすめ本



「夜に星を放つ」  
文藝春秋 窪美澄 著  
913.6 ク



「運慶リアルを超えた天才仏師」  
新潮社 山本勉 著  
712.1 ヤ



「のぞく図鑑 穴」  
小学館 宮田珠己 著  
454.6 ミ

先生のおすすめ本 今回は春日兼行先生と森田雅弘先生からのおすすめ本を紹介します。

### 「薬屋のひとりごと」

日向 夏 著 // 主婦の友社

痛快ミステリーロマンの文庫本です。

中世の宮中（中国）を舞台に毒味役の少女猫猫（マオマオ）が難事件の謎を次々と解いていく！

小説だけでなく、少女マンガ、青年マンガもあります。

青年マンガの方がミステリーの要素高いです。読むとハマると思いますよ！

（春日兼行先生）



### 「防災アプリ特務機関 NERV（ネルフ）」

川口 穰 著 // 平凡社 // 369.3 円

今年の1月1日 午後 私のスマートフォンに地震の速報通知が大きな音（警告音）と振動と共に届きました。能登地方で大きな地震が発生して、間もなく自宅付近（熊谷）に到達します、揺れに準備をして下さいと警告していました。本書は家族を東日本大震災で亡くされた方が、同じような思いをされる方を無くしたいと思い、省庁（気象庁・国土交通省・総務省など）の災害情報の集約化や通信方法の研究につとめ一番早い津波や地震の速報ができるアプリを開発するまでの話です。



NERV など、あるアニメ内の設定や名称も出てきます。読んで何かを感じて下さい。

（森田雅弘先生）

### 「関東大震災」

吉村 昭 著 // 文藝春秋 // 210.6 円



関東大震災が発生後 100 年、1 月 1 日の能登半島の地震をはじめ日本列島には、発災が予想される地方が多くあります。本書は大正 12 年 9 月 1 日に発生した関東大震災における学術的な研究過程と、その情報の開示と人々の間に交わされるデマ・誤報などによる人災が書かれています。現代においても災害の正確な情報伝達や、避難・支援の必要性が重要であると言われていています。過去の経験から今何が必要か、どう行動すべきか考えてみましょう。（森田雅弘先生）

### 新着図書のおすすめ本



#### 【北豊島工科高校図書館からのお知らせ】

3 年生の皆さんへ。

3 年生の図書の貸出は 1 月 31 日（水）までとなります。未返却の図書が手元にある人は、忘れずに返却してください。

